



## 令和4年度のスタートに当たって

本年度の定期人事異動により、伊敷台中校長として着任しました 窪田 雅彦 と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本校では、生徒数511人、教職員42人、合計553人が学校生活を共に過ごしております。

新年度が始まり2週間が経過しようとしています。生徒の皆さんの明るく元気な姿と年度始めの準備に奔走する先生方の一生懸命な姿を見て、校長としての責任の重さと、保護者の皆様方から信頼を得るための学校経営の在り方をワクワクドキドキしながら思案中です。

この2週間の出来事を振り返りながら、本校で育てたい子供の姿と学校の現況等についてお知らせします。

## 中学校生活で育てたい三つの力

### 「気がつく力」「考える力」「やり抜く力」

～第29回入学式の校長式辞から～

中学校の3年間は、心も体も大きく成長する時期で、皆さんのこれからの人生の中でとても大切な3年間となります。

人生と言えば、改正された民法により、この4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。18歳、つまり高校3年生の時期に成人となることを考えると、あまり時間がありません。そこで、中学生のうちに身につけてほしい三つの力についてお話します。

その三つの力とは「気がつく力」「考える力」「やり抜く力」です。

「気がつく力」とは、季節や環境の変化を見て、「きれいだな」とか、散らかっているものを見て自ら整理することができる力です。また、友達と会話をしている際に、「今日は元気がないな。何かあったのかな。」とか、「自分が言ったことを気にしているのかな」と、相手の表情の変化に気がつく力です。

「考える力」とは、授業中に「なぜだろう」とか、「どうすればいいんだろう。」と考えたり、世の中の出来事や他人のうわさ話を聞いて「本当にそうだろうか」と、考える力です。

「やり抜く力」とは、一度決めたことを最後まで粘り強く取り組む力や、正しいと思うことは自分一人でも行動することができる力です。

※ 私はこの三つの力を身につけることができれば、着実に大人への準備ができると考えています。

## 生徒会主体の活動に感動しています

### ◆朝のあいさつ運動

本校では8時から教室での「朝読書」に取り組んでいます。生徒会ではその時刻に合わせて「正門を7時55分に通過しよう。」と呼びかけています。驚いたのは生徒会役員の行動力です。毎朝、あいさつをしながら登校状況を確認し、最後には、課題について話し合うミーティングを行っているのです。リーダーには苦労はつきものです。



早朝から大変でしょうが、今後の継続した取組に期待しています。

## P T A活動をどのように進めるか？

学級P T A等の御参加、ありがとうございました。

保護者の皆様におかれましては、学級P T AやP T A運営委員会の際に、P T A組織づくりに多大な御協力いただき、誠にありがとうございました。近年、P T A活動の在り方については、コロナ禍において十分な活動ができなかった時期もあることから、「この活動は本当に必要か。」といった疑問の声を聞くことがあります。

本校における今後のP T A活動の在り方については、P T A会長の勝さんを中心に検討していくこととしておりますが、校長としての私の思いをお伝えさせていただきます。

### ◆参加することに喜びを感じるP T A活動

子供たちが学校生活や家庭・地域での生活を安心安全に過ごすとともに、学びに向かう学習環境を充実させるためには、教職員と保護者が協力して環境づくり等に取り組むことが必要です。役員になると、行事の運営や資料作成等、たいへんな時間と労力を伴いますが、保護者同士のネットワークの広がりにより、子育てに関する情報交換や講師の先生、学校職員との交流の中で新たな気づきや興味関心の世界が広がることも期待できます。まさに生涯学習の視点でP T A活動を捉えてみてはいかがでしょうか。

今後のP T A活動の在り方について御意見等がありましたら、是非校長室に御連絡ください。

### 〈台中日和とは〉

今日はいいい天気だ。体育大会日和だ。今日は穏やかな海だ。航海日和だ。など、天気や自然の状況を見て〇〇日和という言葉をよく使う。

伊敷台中で過ごす生徒や教職員一人一人には、それぞれ違った一日の迎え方がある。しかし、晴れても雨の日でも、皆さんにとって「毎日がいい日」となるよう願いを込めて台中日和とした。